

## 研究テーマ

# 「社会的包摂とセーフティプロモーション」 —誰も置き去りにしない安全・安心な社会を創る—

当研究室は、私反町が、今年4月に本学に着任することで開設され、歩みを始めたばかりです。地域における社会的包摂活動やセーフティプロモーションに関わる活動に関する間口の広い研究を、自治体関係者やNPOと連携し進めていきます。

## 主な研究テーマ

- 地域における社会的包摂の実践に関する研究
- セーフティプロモーションに関する研究
- 自殺総合対策に関する政策的研究

## 主な担当講義科目

- ヘルスプロモーション特論（修士）
- ヘルスプロモーション演習（修士）
- 公衆衛生学、セーフティプロモーション（学部）

## 研究紹介

グローバル化の進行する中、国内外を問わず社会的格差が拡大し、人々のいのちと暮らしには、健康格差に加えて安全格差も拡大する危機にあります。2015年国連総会は、地域環境や経済活動、人々の暮らしを持続可能とするために、すべての加盟国が取組む行動計画として、SDGs (Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標) を決議しました。「誰も置き去りにしない」(leaving no one left behind) ことが、その根本理念となっています。

他方、我が国では、先進国の中でも高いレベルにとどまっている自殺率をかんがみ、誰もが自殺に追い込まれない社会を実現する、生きることの包括的支援としての自殺対策を理念とする改正自殺対策基本法が2016年に施行されました。現在、全国の市町村が、この法律に基づいて、生きることの包括的支援としての自殺対策計画を策定中です。

SDGsと改正自殺対策基本法、その両者の根本にあるのが、社会的包摂 (social inclusion) の理念でに他なりません。すなわち、貧困、様々な障がい、虐待や暴力の被害、失業、災害被害などと抱えた人、人種・性的少数者等を社会からはじき出すのではなく、社会の中で人権が守られて生活ができるようにすることが、社会的正義であるとする考えです。

本研究室の主な研究テーマは次の通りです。

- 1) 地域における社会的包摂の実践に関する研究  
具体的には、子ども食堂や「だれでも」食堂などの活動の推進や評価に関する研究です。
- 2) セーフティプロモーションに関する研究  
セーフティプロモーションとは、暴力・事故・自傷行為を予防したり、災害による被害を軽減したりするための安全・安心な社会づくり (地域づくりを含む) のことです。具体的な課題としては、チャイルドシートの着用推進等子どもの安全に関する研究、「いきいき百歳体操」による高齢者の転倒予防効果に関する研究等があります。
- 3) 自殺総合対策に関する政策的研究  
具体的には、市町村自殺対策計画の策定支援と評価に関する研究、並びに手段制限による自殺予防の政策導入に関する研究を実施中です。

## 大学院進学を希望する方へひと言

社会的包摂活動、ヘルスプロモーション並びにセーフティプロモーションに関わる地域活動の推進と評価に関する研究であれば、どんなテーマの方でも、歓迎致します。量的な研究だけでなく、質的な研究アプローチによる研究を考えている方も、ご相談ください。担当院生の意思を尊重し、discussionを大切にしながら、指導したいと考えています。